ののいちの学校図書館

Vol.69 「おはなしのゆりかご」朝の読み聞かせ

～菅原小学校より～

野々市市内の各小学校では図書ボランティアのみなさんによる読み聞かせの活動が盛んに行われています。その中でも本校の「おはなしのゆりかご」は市内で最も古く、今から 14 年前に始まりました。

今年度は毎月第１・第３水曜日の朝学習の時間に行われています(第１水曜日は低学年、第３水曜日は隔月で中学年または高学年)。普段は元気のよい低学年も、忙しくて本にふれる時間が短くなりがちな中・高学年もボランティアのみなさんの読み聞かせには皆おはなしの世界にくぎ付けです。

また、本校では毎年夏休みに行われるサマースクールの一環として「おはなしのゆりかご夏休みスペシャル」を開催しており、今年度は７月 29 日と８月８日に行います。

図書館ではボランティアのみなさんの活動に日々感謝し、今後も要望に応じて支援していきたいと考えています　（文：菅原小学校：福田）

図書ボランティアの方の読み聞かせの様子→

明倫生の手作りＰＯＰ展

図書館ロビーを POP が華やかに彩っています！

ただいま市立図書館では、野々市明倫高校生による手作りのPOP(ポップ)を展示しています。「POP」とは、いちおしの本のおすすめポイントなどを書いたもの。本と一緒に展示することで本の魅力を簡単に伝えることができ、「読んでみたいぞ！」と思わせるための工夫を凝らしたアイテムです。

東野圭吾『パラドックス 13』、中田永一『くちびるに歌を』、沖方丁『天地明察』など、高校生がおすすめする本 15 冊の他、図書館おすすめの絵本『イカタコつるつる』『きょうはなんのひ？』など 11 冊の POP を作成していただきました。生徒達のアイデアの詰まった作品をぜひご覧ください。

夏休み突入！調べ学習に励む子供から、読書を楽しむ大人まで毎日活気あふれる図書館です。図書館でもいろいろな展示を開催中。読書の参考にいかがですか？ぜひ見に来てくださいね♪

ののいち読書100選
何冊読んだ？

中・高生へのおすすめ本
「図書館20冊すすめるってよ」
絶賛貸出中！

第59回読書感想文コンクール課題図書
次の人のために、貸出期間は守ってね！

一般向け「うまい小説」
人気のため本がないことも…
予約もできます☆

図書館だより

葉月(はづき)

クールシェアスポット✿

野々市市立図書館(ののいちしりつとしょかん)　2013 年８月
〒921－8815
野々市市本町２丁目 14 番６号
TEL 076-248-8099 FAX 076-248-8175

休館日　月曜日・祝日・年末年始　ほか
開館時間　火～金　10 時～19 時
　　　　　土・日　10 時～17 時

8月

☆毎月第１水曜日はノーテレビ・ノーゲームデー☆今月は8/7です！

日	月	火	水	木	金	土
		🚌移動図書館車「ふれあい号」		8/1	2 🚌太平寺 菅原団地	3 じょんから まつり
4 じょんから まつり	5 休館	6 🚌あやめ会館 あすなろ団地	7 夏休みおはなし会 🚌椿荘・百々鶴荘・新庄会館	8 ブックスタート	9 🚌金沢南ケアハウス・新庄１丁目	10 おはなし会 🚌長池 めいりんの里
11	12 休館	13 🚌粟田公民館	14 🚌JR 野々市駅北口・藤平田	15 17:00 閉館	16	17
18	19 休館	20	21	22 ブックスタート	23	24 おはなし会 🚌上林・柳町・清金・徳用
25	26 休館	27	28	29	30	31
9/1	2 休館	3 🚌あやめ会館 あすなろ団地	4 🚌椿荘・百々鶴荘・新庄会館	5	6 🚌太平寺 菅原団地	7 🚌長池 めいりんの里

※8/15（木）は閉館時間が 17：00 になります。よろしくお願い致します。

おはなし会

☆おはなし会(かい)☆
とき：８月 10 日(土)、11：00～
ところ：児童図書(じどうとしょ)コーナー

♪フレンズさんのおはなし会(かい)♪
とき：８月 24 日(土)、11：00～
ところ：児童図書(じどうとしょ)コーナー
絵本(えほん)、紙芝居(かみしばい)、おりがみなどを用意(ようい)してまっ

《2013年9月のカレンダー》

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2 休	3	4	5	6	7
8	9 休	10	11	12	13	14
15	16 休	17	18	19	20	21
22	23 休	24	25	26	27	28
29	30 休	10/1	2	3	4	5
6	7 休	8	9	10	11	12

本のひろば

★☆おすすめの一冊☆★

『英国一家、日本を食べる』【383】

マイケル・ブース/著，亜紀書房，2013 年．

残暑厳しい８月の終り、本物の日本食を求めて一組のイギリス人一家が成田空港に降り立った。来日を決意させたのは、辻調理師専門学校の設立者・辻静雄の著書（「Japanese Cooking:A Simple Art」という日本料理のバイブルとも言える一冊）。夜の歌舞伎町に圧倒され、ガード下で焼きそばや焼き鳥に舌鼓を打ち、懐石の本場・京都では日本料理に理解を深める。北海道～沖縄までの食を堪能する、笑いあり涙ありの日本縦断珍道中記。私たち日本人が内側からは気付かなかった“日本らしさ”に目を向ける。

☆児童向け☆

『ねえ、どれがいい？』【絵本】 ジョン・バーニンガム/作，評論社，2010 年．

「ジャムまみれと、みずびたしと、…どっちがいい？」どっちもぜったいイヤだけど、もしもえらばなきゃならないなら、あなたはどっちをえらぶ？ジョン・バーニンガムの大人気絵本。

『知って楽しい 花火のえほん』【575】 冴木 一馬/作，あすなろ書房，2008 年．

夏の夜といえば花火。夜空いっぱいに大きくひろがる花火は、どのように作られているのだろう。花火の歴史や、日本と世界の花火のひみつなど、楽しく学んでみよう！

☆ＹＡ向け☆

YA…ヤングアダルトの略。子どもでもあり大人でもある中間の世代。

誇り高い生き物・イングランドオオカミの知恵をつくした死闘を描く。

『オオカミは歌う』

メルヴィン・バージェス/作，偕成社，1994 年

500 年も前に滅びたはずのオオカミが実は生きていた。それはとうさんとわずかな村人だけが知っている大切な秘密だった。しかし 10 歳のベンは思わず口にしてしまう。しまったと思ったときにはすべてが遅すぎた。数百年のあいだ、徹底的に人間から遠ざかって生きのびてきたオオカミの群れを、次々と襲う一人のハンター。かつて家畜を襲い“悪魔”と呼ばれたオオカミだったが、今ではこのハンターがオオカミたちの悪魔だった。なぜそこまで執拗にオオカミを狙うのか？それは「最後の一匹を殺した」という名誉を得るためだった。絶体絶命のなか生まれた最後のオオカミ・グレーカブ。若く美しく成長した彼の孤独と誇りが、ハンターとの最後の戦いへと導く。最後まで奇跡を願いたくなる一冊。表紙のオオカミの目にも注目してほしい。

図書館員のひとり言

野々市市立図書館員が、月替わりで心に残った本について語ります。

『さるのこしかけ』 さくら ももこ/著 集英社 1992 年

『ちびまる子ちゃん』を漫画で読み、テレビでも見て育った私。その流れで、小学生の頃さくらももこさんのエッセイを手に取った。『もものかんづめ』から始まり、『たいのおかしら』『あのころ』へ（もちろんその後も読み続ける）。その中から『さるのこしかけ』を選んだのは、あまりにも衝撃的な健康法が書かれていたから。その健康法とは…ここに書いていいんだろうか。すごく悩む。とにかく、それは「何にでも効く」らしく、痩せたい願望に塗られた思春期の私は何度か挑もうとしたが、その都度勇気が出ず諦めた。もし試していたら、今頃ほっそりした自分でいられたのだろうか……謎のままでいいような気もする。 (M.S)

新着図書のご案内

◎７月中に新着図書として配架されたものです。新着図書の配架は毎週土曜日です。貸出中の図書には予約を入れることができます。

一般		
小説・文学・エッセイ	深海の夜景	森村　誠一
	東京バビロン	新堂　冬樹
	心	姜　尚中
	正義をふりかざす君へ	真保　裕一
	ちっぽけな恋	池永　陽
	天佑なり　上・下	幸田　真音
	ソウルメイト	馳　星周
	風屋敷の告白	藤田　宜永
	明日になったら	あさの　あつこ
	てのひらに爆弾を	黒武　洋
	青い花	辺見　庸
	いつも彼らはどこかに	小川　洋子
	ふたつめの庭	大崎　梢
	キアズマ	近藤　史恵
	ぼくがいま、死について思うこと	椎名　誠
	遠野物語remix	京極　夏彦
	殺生伝	神永　学
	ミライノコドモ	谷川　俊太郎
	愛ふたたび	渡辺　淳一
実用書・その他	日本の 200 年　上・下	アンドルー・ゴードン
	一流役員が実践している仕事の哲学	安田　正
	もう限界!!介護で仕事を辞めないために読む本	高室　成幸
	4色ボールペンでかわいいイラストを描く！	くわざわ ゆうこ
	忙しいママでもラクラク作れる子どもが喜ぶお弁当	阪下　千恵
	がまんしなくていい	鎌田　實
	走りながら考える	為末　大
	トヨタの片づけ	OJTソリューションズ
	その本、読みたい！低学年	村上　淳子
	信念を貫く	松井　秀喜

こども向け		
えほん	きょうはマラカスのひ	樋勝　朋巳
	ぱんつくったよ。	平田　昌広
	サーカスのあかちゃんぞう	モード・ピーターシャム
	マールとおばあちゃん	ティヌ・モルティール
	ひっつきむし	ひこ・田中
	ちいさなあなたへ	アリスン・マギー
	ぎょうれつ	中垣　ゆたか
	うそつきマルタさん	おおの こうへい
	あめあめふれふれねずみくん	なかえ よしを
	ほら、ぼくペンギンだよ	バレリー・ゴルバチョフ
	きいのいえで	種村　有希子
	きょうのえほん	いもと ようこ
	とんとんパンやさん	白土　あつこ
	ぎょうれつのできるケーキやさん	ふくざわ ゆみこ
	からすのそばやさん	かこ　さとし
よみもの・ほか	砂の上のイルカ	ローレン・セントジョン
	三本の金の髪の毛	松岡　享子
	夏っ飛び！	横山　充男
	かさねちゃんにきいてみな	有沢　佳映
	かあちゃん取扱説明書	いとう　みく
	うちは精肉店	本橋　成一
	森をつくる	C．Wニコル
	暗やみの中のきらめき	マイヤリーサ・ディークマン
	日本の不思議伝説大図鑑	湯本　豪一
	動物おもしろ実験クイズ	学研教育出版
	かたつむりのひみつ	ひさかたチャイルド
	ミミズ　土をつくる生き物	皆越 ようせい
	食べられたがる果物のヒミツ	盛口　満
	かがくあそび	高柳　雄一

※新着図書とは新しく図書館の蔵書になった図書をさします。新刊（新しく出版された）図書だけではありません。

『あずかりやさん』

大山　淳子 || 著

「一日 100 円でなんでもおあずかりします。」商店街の西のはじ、静かにのれんが揺れるそのお店では、どんなものでもあずかってもらえます。といっても店主の元へ舞い込んでくるのは、わけありなものばかり。秘密を抱えたお客さんが持ち込む不思議な物語。

『島はぼくらと』

辻村　深月 || 著

瀬戸内海に浮かぶ島・冴島から、毎日フェリーで本土の高校に通う朱里、衣花、源樹、新の 4 人。小さな島には地元以外からの出入りも多く、訪問者が持ち込む厄介事も。4 人の大切な時間は過ぎ、いつか島を出る日はやってくる…。直木賞作家の青春小説。